

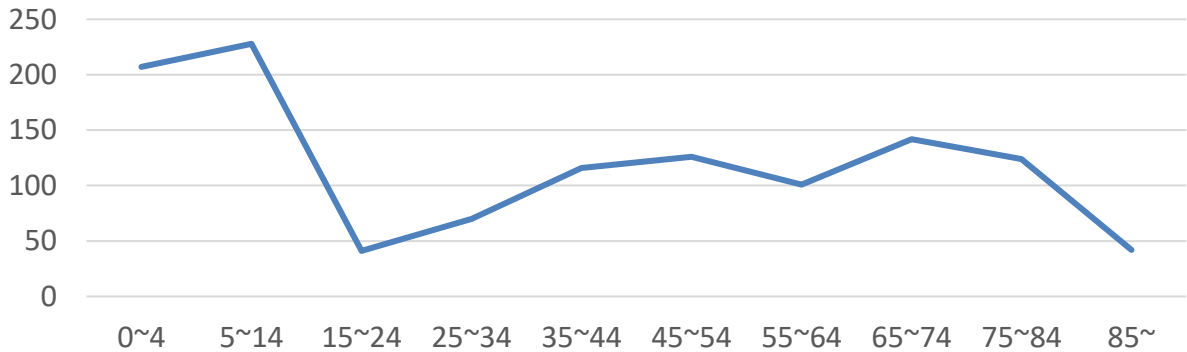
喘息の鍼灸治療～良導絡チャートからの考察～

訪問マッサージ湘南なごみ 院長

東日本支部 良導絡測定アドバイザー 阿部和哉

気管支喘息は呼吸器の分野でもっともポピュラーなアレルギーが関係する疾患。年代を問わず幼児から高齢者まで多くの人々がこの病気で悩んでいる。有病率は人口100人に3から5名(3から5%)。世界中では3億人の喘息患者がいるとされ、20年前に比べるとどの国からの報告も気管支喘息患者は増加をしている。今の状態が続けば、2025年にはさらに1億人の患者数の増加が予想されている。一方、わが国では厚生労働省の調査によれば、患者数は120万人で、治療を受けていない人を含めると450万人以上と推測されている。

喘息患者の年齢別総患者数(H26)



喘息は発作的に起こる特異的な呼吸困難で、アレルギー疾患の一つである。原因は遺伝・自律神経不安定・気道の過敏性の内因にアレルギー・感染・ストレス・過労・薬品・食品添加物・気候の変化の外因が加わり、発作が起こる。

喘息は肺の病と考えがちであるが、喘息の病能を良導絡チャートより考察した。

また、喘息の鍼灸治療は本治と標治があり、

【本治】

- ・良導絡基本調整Ⅲ型（肝兪、脾兪、腎兪、天柱、肩井、上腕、中腕、下腕、梁門）＋百会、気海、足三里、
- ・興抑調整治療

【標治】

- ・照海、太溪、復留の反応良導点治療
- ・腰眼付近の反応良導点治療
- ・YNSAの治療点
- ・大椎5点灸・九曜の灸・弘法大師のレンコン灸

を紹介する。

また、小児喘息の治療法や家庭で出来る治療法を説明する。